

理 事 会 議 事 要 旨

| | |
|-------|---------------------------------|
| 会 議 名 | 2011 年度第 1 回理事会 |
| 日 時 | 2011 年 10 月 15 日(土) 11:00~16:30 |
| 場 所 | 西宮市市民交流センター B 会議室 |
| 参 加 者 | 理事) 側垣 田上 角田 大野 島村 横山 監事) 能島 |
| 欠 席 者 | 理事) 家本 監事) 石田 |
| 事 務 局 | 長谷 津高 |

| | |
|-----|--|
| 議 案 | <p>1. 【報告事項】</p> <p>(1) 事業報告と計画</p> <p>(2) RTC関連報告</p> <p>(3) 管理部門報告</p> <p>(4) 会計報告</p> <p>2. 【審議事項】</p> <p>(1) 2012年度の役員改選期における手順およびスケジュール等</p> <p>(2) トレーナーの人材育成について</p> <p>(3) 定款細則と RTC 業務の解説</p> <p>3. 【協議事項】</p> <p>(1) 2012年度からの正会員入会申込の手続等(団体・個人)</p> <p>(2) CCJの今後の組織の在り方と次年度のCCJの事業の方針</p> <p>(3) 震災プロジェクト</p> <p>(4) ベーシックトレーナーおよびプレトレーナー、SNPトレーナーの現状報告と今後</p> <p>4. 【その他】</p> |
|-----|--|

【報告事項】

| (1)事業報告と計画 | <p>2011年度上半期事業報告および下半期事業計画について、事務局より報告が行われた。第1事業の資格更新研修は、上半期6回、おもに地域に出向く出張講座で実施した。下半期は7回を予定。第2事業の「子どもへの暴力防止のための基礎講座」の受講者数が昨年より少ない。下半期は、公開講座を3回実施予定。第4事業は『教職員ワークショップ冊子』、ポスター2種、『Strategies for Free Children』など発行物が増えており、下半期も助成事業としてハンドブック作成予定。第6事業は、他団体の協働として研修の実施が増え、下半期は昨年度に引き続き司法面接研修のアクターの依頼がきている。</p> <p>メールでの理事会承認案件は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月 J-CAPTA「311project」発足支援について ・8月 CAP イラスト&コミック版サクセスストーリーの増刷 ・9月 「CAP 静岡連絡会」の正会員承認(静岡県複数のCAPグループが1団体へ) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|---|-------------------------|---------------------|-----------------------|------------|--|-------|---------|-------|---------|--------|--------------------------|-------------------------|---------------------|-----------------------|---------|--------|-----------|--------|-----------|
| (2)RTC関連報告 | <p>2011年度覚書を交わしたグループ数82(+提出予定2)、活動認定証発行数1142人(2010年度983人、2011年度159人)、資格取得証明発行者数18人となっている。</p> <p>資格更新のための必須研修は6回実施して117人が受講された。</p> <p>2010年度ワークショップ参加者数は、J-CAPTAと情報交換し以下のとおりである。昨年度数の8割程度となっている。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">子どもワークショップ</th> <th colspan="2">おとなワークショップ</th> </tr> <tr> <th>回数(回)</th> <th>参加者数(人)</th> <th>回数(回)</th> <th>参加者数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2010年度</td> <td>5,584 (うちCCJエリア4,532)</td> <td>156,526 (# 130,805)</td> <td>2,399 (# 1,740)</td> <td>58,458 (# 43,649)</td> </tr> <tr> <td>これまでの累計</td> <td>90,011</td> <td>2,651,215</td> <td>47,349</td> <td>1,705,080</td> </tr> </tbody> </table> | | 子どもワークショップ | | おとなワークショップ | | 回数(回) | 参加者数(人) | 回数(回) | 参加者数(人) | 2010年度 | 5,584 (うちCCJエリア4,532) | 156,526 (# 130,805) | 2,399 (# 1,740) | 58,458 (# 43,649) | これまでの累計 | 90,011 | 2,651,215 | 47,349 | 1,705,080 |
| | 子どもワークショップ | | おとなワークショップ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 回数(回) | 参加者数(人) | 回数(回) | 参加者数(人) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2010年度 | 5,584 (うちCCJエリア4,532) | 156,526 (# 130,805) | 2,399 (# 1,740) | 58,458 (# 43,649) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| これまでの累計 | 90,011 | 2,651,215 | 47,349 | 1,705,080 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (3)管理部門報告 | <p>会員状況は、正会員83、活動会員447人、賛助会員23.5口18人となっている。</p> <p>今年度の助成金状況は以下のとおりで、結果待ちのものもある。</p> <p>キリン福祉財団(社会的養護啓発事業に対して)</p> <p>阪急阪神未来のゆめ・まち基金(団体運営に対して)</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | |
|---|--|
| <p>(4)会計報告</p> | <p>フィリップモリスジャパン(児童養護施設プログラム実践に対し500万円。J-CAPTA エリアとCCJエリアで半額ずつとし、事務局はCCJが担当) 認定NPO法人イーパーツ(リユースPC1台寄贈) テックスジャパン(マイクロソフトソフトウェア寄贈) 震災支援として、以下のことを行った。 J-CAPTA「311project」発足支援 7月30日の発足式に理事、事務局員が参加し、CCJの発足支援についてお伝えした。 ・支援金106,000円(CCJ会員からの寄付をとりまとめ) ・『Strategies for Free Children』100冊(今年度RTC共同発行物の印刷費負担) ・缶バッジ、広報シール(宮城県グループ) 事務所に複数ある書籍・絵本を2団体に寄贈。 ・Hon for Japan(震災地域へ本を配送) ・Books For JAPAN(本を買い取り、被災地復興支援に寄付)</p> <p>2011年度上半期財務状況について、予算との関連からみた達成率と、今後のキャッシュフローについて事務局から報告が行われた。 「CAPスペシャリスト養成講座実践編」「子どもへの暴力防止のための基礎講座」の参加者数が昨年度より少なく、トレーナー1名、事務局員1名の体制で講座運営を行う会場もある。ほか発行物が多く印刷費がかかるなど、財政は依然厳しい状況にある。新刊『Strategies for Free Children』については、CAPスペシャリストの皆さんに購入いただけるよう案内に努める。</p> |
| <p>【審議事項】</p> | |
| <p>(1)2012年度の役員改選期における手順およびスケジュール等</p> | <p>次年度役員改選に向け、以下のような手順スケジュールを進めていきたい旨、運営委員会委員の横山理事より提案がなされた。 12月 現理事の意向について事務局が確認 2012年1月 正会員に理事候補者推薦の流れについてお知らせ 2月 理事候補者の人数・要件等の決定 3月 理事候補者推薦募集 4月 理事候補選考</p> <p><決議事項> 役員改選の手順を提案どおり進める。理事の構成については、広く意見を集めるために地域性を考慮することとし、理事推薦に関する意見募集(第2回理事会までに)も併せて行う。</p> <p>(2)トレーナーの人材育成について</p> <p>中学生暴力防止プログラムトレーナー養成について、以前から森田ゆりさん、J-CAPTAに問い合わせしていたところ、5月に実施したRTC協力会合でJ-CAPTAから回答があった旨、運営委員会委員の横山理事が報告し、併せて「2012年度にトレーナー養成を行いたい」との提案がなされた。 回答概要:中学生暴力防止プログラムトレーナー養成には、養成講座(2日間 16時間以上)と養成講座同行研修(1回以上)を行う。受講要件は、ベーシックの養成講座10回以上の経験があり、中学生暴力防止プログラム子どもWSのファシリテーター30回以上行っていること。J-CAPTA現トレーナーの3人が森田ゆりさんによるトレーニングを受け、中学生暴力防止プログラムのトレーナーズトレーナーになったので、今後のトレーナー養成はJ-CAPTA現トレーナーの3人が担当する。 <決議事項> トレーナー養成について検討した結果、時期尚早のため、2012年度に中学生暴力防止プログラムのトレーナー養成を行わない。</p> <p>(3)定款細則とRTC業務の解説</p> <p>委員会提出案に理事から意見が出ていたので、運営委員会で再度見直し、委員会委員の長谷より再提案がなされた。 <決議事項>一部を修正し、定款細則ならびにRTC業務解説を2011年11月1日より施行する。</p> |

| 【協議事項】 | |
|--|---|
| (1)2012年度からの正会員入会申込の手続等(団体・個人) | <p>2012年度以降の正会員申込書案を運営委員会が作成したので、それについての意見交換が行われた。個人正会員申込書には「CAPとの関わり」に関して記入欄を設け、団体正会員申込書には「活動分野」の選択欄を設けた。また、CAPスペシャリストが個人正会員になる場合は、従来の活動会員のサービスも享受できる。</p> <p><確認事項>基本的に申込書の様式を了解する。</p> |
| (2)CCJの今後の組織の在り方と次年度のCCJの事業の方針 | <p>これまで暫定としてきた体制を改める時期にきており、2012年度以降の運営体制、運営方針、事業方針について、運営委員会案が委員の横山理事より提示され、意見交換が行われた。</p> <p>2012年度は役員改選期にあたるため、理事会を年4回開催とする。</p> <p>運営委員会の固定メンバーを数名(2011年度は5人)とし、案件によって他のメンバーを招集できる運営を行っていく。</p> <p>経営状態の把握のために、3か月に1度資料を作成し、運営委員会、理事会に報告を行う。</p> <p>CAPプログラム実践報告から、実践数の減少傾向が明確になり、団体のミッション達成のため、CAPプログラム全体の普及の取り組み強化を図る。</p> <p><確認事項>基本的に2012年度以降の運営体制、運営方針、事業方針を了解する。</p> |
| (3)震災プロジェクト | <p>今後の活動に向けて、運営委員会案として、委員の横山理事から「今後は、第1次防止に関わるものとして、今後起こりうることに備えるために“災害とCAP”といった観点からアプローチするのはどうだろうか。プロジェクト名の変更も併せて検討したい」との提案がなされ、意見交換が行われた。</p> |
| (4)ベーシックトレーナーおよびプレトレーナー、SNPトレーナーの現状報告と今後 | <p>トレーニング委員会事務局から提出された各トレーナーの現状報告を確認し、今後のトレーナー体制について意見交換が行われた。</p> |
| 【その他】 | |
| (1)次回理事会 | 2012年2月18日(土)に西宮市にて開催する。 |
| (2)議事録署名人 | 島村理事、横山理事 |

議事要旨作成：長谷